

グループ名 ・代表者名	OurPlanet-TV 白石 草	助成金額	40 万円
連絡先など	info@ourplanet-tv.org		
助成のテーマ	「東電テレビ会議～49 時間の記録」英語版作成		

## 【調査研究の概要】

- ・本プロジェクトは、東京電力・福島第一原子力発電所事故の様子を生々しく伝える映像資料「東電テレビ会議」のうち、2011年3月12日午後11時頃から15日未明迄までの49時間を映像ドキュメントにまとめた「東電テレビ会議～49時間の記録」の英語版を作成するものである。
- ・これらの映像は、難解な技術用語が含まれる技術者の会話が軸であり、海外のジャーナリストや研究者、活動家などが共有するには難しいものだった。「東電テレビ会議 -49時間の記録」は、前編107分、後編99分との長編だが、生の現場の様子を英語化することにより、福島第一原発事故がどのような事故だったのか、また東京電力および日本政府がどのようなオペレーションをしていたかを、世界の前で明らかにすることが可能となる。
- ・日本語版の台本をもとに半年で英語版を完成させる計画だったが、翻訳予算を圧縮しすぎたこともあり、技術翻訳およびネイティブによる映画字幕翻訳に大幅な時間がかかり、現在も作業を継続している。福島原発事故から5年目にあたる2016年春での世界上映に間に合わなかったが、今秋、欧州で開催される国際科学ジャーナリスト会議に間に合うように作業を進めたい。

## 【調査研究の経過】

- ・2015年4月～7月 技術翻訳打ち合わせ・翻訳
- ・2015年9月 技術翻訳再調整
- ・2015年11月 技術翻訳下訳完成
- ・2015年12月 ネイティブ翻訳開始
- ・2016年3月 ネイティブ翻訳 前半完成
- ・2016年4月 東電テレビ会議前編 翻訳字幕作業
- ・2016年現在 ネイティブ翻訳 後半作業中



## 【今後の展望など】

- ・2016年11月に欧州で開催される科学ジャーナリスト国際会議などでの上映を計画している
- ・日本が世界中に原発を輸出し、また再稼働を図ろうとするなかで、同映像が世界に公開されることは、非常に大きな影響を与えることになると思う。また、現在、米国では、トモダチ作戦に従事した兵士ら239人が、東京電力およびGEや東芝などのメーカーを相手取り、損害賠償裁判を起こしているが、そうした裁判資料としても、重要なインパクトを与えるものと考えている。

会計報告書の概要 (金額単位: 千円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
機材・備品費		22			22
会議費		1			1
協力者謝礼など	技術翻訳 16 万円 ネイティブチェック 40 万円	560	400		160
外部委託費	20 日×15000 円	300			300
合 計		883	400		483

## 参考文献 (ウェブサイトや書籍、成果物など)

- ・【東電テレビ会議 -49 時間の記録】 <http://www.touden49.net/>
- ・【OurPlanet-TV】 <http://www.ourplanet-tv.org/>

# 東電テレビ会議～49時間の記録 英語版作成



English Subtitling the Video Document  
"49 Critical Hours: Inside Fukushima Daiichi (working title)"

## 経過

- 原子力産業の関係者(主にメーカーの技術者)に下訳を依頼。海外経験のある元技術者らが、事故の教訓を世界に伝えるために、ボランティアベースで翻訳作業を行った。
- しかし、あまりに膨大な内容かつボランティア価格であったため、当初より下約の大幅な時間がかかった。
- 現在「東電テレビ会議～49時間の記録」は、前編107分、後編99分のうち、前半のみ字幕つけが終了。しかし、本格的なネイティブによる字幕チェックはこれから。
- 原発事故から5年目にあたる今年春の完成および全世界で上映されることを目標としていたが、初上映は秋の世界科学ジャーナリスト会議にずれ込む見通し

## 概要

- 本プロジェクトは、東京電力・福島第一原子力発電所事故の様子を生々しく伝える映像資料「東電テレビ会議」のうち、2011年3月12日午後11時頃から15日未明迄までの49時間を映像ドキュメントにまとめた「東電テレビ会議～49時間の記録」の英語版を作成するものである。
- 完成したドキュメン足りは、海外の映画祭や研究会などでの上映をめざす
- 日本が世界中に原子力を輸出し、また再稼働を図ろうとするなかで、同映像が世界に公開されることは、非常に大きな影響を与えるはず。

## 公開後の成果

- 英語版を海外で公開することで、福島第一原発がどのような事故だったのか、また東京電力および日本政府がどのようなオペレーションをしていたかを、世界の前で明らかにすることが可能となる。
- 現在、米国では、トモダチ作戦に従事した兵士らが、東京電力および、GEや東芝などのメーカーを相手取り、損害賠償裁判を起こしているが、そうした裁判資料としても、重要なインパクトを与えるものと考えられる。

# 東電テレビ会議映像とは一

	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	16日
	震災発生 緊急事態宣言 3キロ避難	1号機爆発		3号機爆発	管4 2号機 管5号機 相模湾 東電撃墜 へ着音	
音なし	6:27					
音あり		22:59			0:06	3:18
公開						

東京電力によると、映像の録画をはじめたのは3月11日の午後6時27分から。  
音声が記録されている映像があるのは、3月12日22時59分から5月15日0時6分まで  
と約1日空けて16日3時18分以降から4月6日までの約650時間分

そのうち、一般の人が見ることができるのは274本に分割された補祖切れの映像

# 最大の目標

- 東電が「音声付きの映像が存在しない」と主張している3月11日～12日22時59分までと最も重要な15日0時6分～16日午前3時19分までの映像について、海外からの圧力が高まり、映像の公開・事実の解明につなげたい！！！！
- メディアは東電本店などで視聴できるものの、インターネット上に公開されておらず、またこのドキュメントにも使用が許されていない多くの映像をすべて公開させたい！！！！！！！！